

プロパンガス業者の変更



うちなら もっと
安いですよ。業者変更の
手続きもします。

Q 自宅にプロパンガス(LPガス)業者がやって来て、現在どのくらいのガス料金を支払っているか聞かれました。契約している販売店の料金請求書を見せると、「うちならもっと安い」と言い、業者変更の手続きもしてくれると言うのですが心配です。

A プロパンガス料金は、電気や水道などの認可料金とは違い、ガソリンや灯油などと同じ自由料金です。価格は、販売店によって違います。

消費者は販売店を自らの判断で自由に替えることができますが、トラブルが発生しやすいので注意が必要です。

契約の際には、契約の内容およびガス設備の所有権など重要な事項が書かれた「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化法(液石法)第14条書面」(以下、書面)をもらい、よく読むことが重要です。

安いというセールストークをうのみにせず、価格表をもらい、書面などで契約の中身(取引条件など)について確認し、不明なところは説明を求めましょう。

販売店を変更することにしたら、現販売店へは自分で解約の申し入れをするのが原則です。貸付設備の清算がある場合には書面の内容に沿って清算してもらいましょう。また、業者を変更する際、現販売店がガス配管の所有権を主張し、配管代を請求してくるケースもあるようです。ガス配管の所有権については、業者変更の手続きをする前に確認しておきましょう。

プロパンガスの契約にはクーリングオフ(無条件で契約を解除できる制度)の適用はありませんのでご注意ください。

◆地域ごとのプロパンガス価格

石油情報センター(☎03-3534-7411)へ問い合わせるか、同ホームページ(<http://oil-info.ieej.or.jp>)へ。

◆そのほかのトラブルは

千葉県LPガス協会お客様相談窓口(☎043-246-1579)へ問い合わせてください。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

見つめ直そう 水とわたしたちの生活

成田市は、利根川、根本名川、大須賀川など11の一级河川や、県立印旛手賀自然公園に指定されている印旛沼など豊かな水環境に恵まれています。

しかし、今日の川や沼では、水の汚れが進行しており、市でもさまざまな対策を取っているものの、きれいな水と呼ぶにはほど遠い状況です。水が汚れる原因はいろいろありますが、例えば印旛沼では、工場や農地などから出る汚れよりも、家庭から流される生活排水による汚れの方が高い割合を占めているという調査結果が出ています。

わたしたち一人一人のちょっとした心掛けで、きれいな川や沼を取り戻すことができます。

家庭でできる浄化対策の例

- 調理くずなどは水切り袋を使って流しに流さない
- 食器や鍋などに残った油污れや調味料は布や紙でふいてから洗う
- 米のとぎ汁は植木にまいたり、無洗米を使うなどして、流しに流さない
- 食器洗い・洗たく・トイレ掃除・洗車などに使う洗剤、シャンプー、リンスなどは適正量を心掛ける

下水道の適正利用を心掛けましょう

下水道は、何でも流せるというものではありません。正常に機能するよう家庭での浄化対策に心掛けましょう。

また、下水道未整備地域では合併処理浄化槽の設置と適正管理を、下水道が整備されている地域では正しい接続をしましょう。

10月は、水辺とふれ合うイベントが盛りだくさん

10月18日(土)に(財)印旛沼環境基金による「印旛沼自然観察会」(P26掲載)、19日(日)に「印旛沼クリーンハイキング」(「広報なりた」9月15日号掲載)、25日(土)になりた環境ネットワークの「坂田ヶ池自然観察会」(P25掲載)が開催されるなど、身近な水辺とふれ合う機会が盛りだくさんです。イベントへの参加を通して、水とわたしたちの生活との関わりを見つめ直してみませんか。



※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。